

2026年3月期

第2四半期（中間）決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2025年12月2日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.



JTP 株式会社

所在地

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14F

設立

1987年10月31日

社員数

462名（2025年3月31日時点）

事業内容

ICTシステム設計・構築・運用 / AIサービス開発
医療機器の輸入販売・保守

拠点

東京 / 栃木 / 大阪 / 福岡 / インド・デリー

上場市場

東証 スタンダード

事業領域

Outsourcing Business

ICTシステムの設計・構築・運用・保守等
アウトソーシング事業

Solution Business

ソーシング事業で培った
知見を自社ソリューションに転換



アウトソーシング事業



ICT教育

オンライン配信
e-ラーニング
集合研修



テクニカルサポート

マルチリンガル
L1-L2 サポート
24x365



システム構築

マルチクラウド
仮想化/セキュリティ
コンテナ/k8s



システム運用

オフサイト運用
オンサイト運用
ITIL準拠



医療システム

医療機器製造業/販売業
医療機器修理業
システム導入・運用支援



化学分析システム

GC/LC装置 ※
適格性確認(IQ/OQ/PQ)
LMIS※ 導入・運用支援

※GC:ガスクロマトグラフィー
LC:液体クロマトグラフィー
LIMS:ラボラトリー情報管理システム

事業概要



ソリューション事業



Kyrios

クラウドトータル
ソリューション



生成AI
ソリューション



グローバル
ITスキルアセスメント



Learning Booster

ITスキルマネジメント
プラットフォーム



RedLens

予防型セキュリティ
ソリューション



daimon
AI-Driven Development Solution

AI駆動開発
ソリューション



ハイブリッド運用
サービス



薬機法対応
ワンストップサービス



グローバルIT人材
紹介サービス

事業概要



➡➡ 4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

■ 人財育成コンサルティング

- ・ 人財育成事業
- ・ ITラーニングプラットフォーム (Learning Booster)

■ セキュリティ

- ・ 内部脅威対策
セキュリティ事業

■ DX開発

- ・ ThirdAI (サードアイ) を始めとするAI事業
- ・ アプリケーション開発事業

ICT

■ システム設計・構築

- ・ ICTシステムの設計・構築事業

■ システム運用

- ・ ICTシステムの運用
- ・ リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- ・ 医療機器事業
- ・ 化学分析機器事業
- ・ ライフサイエンス分野のICT事業

その他 (海外)

- ・ 海外事業
- ・ グローバルIT人財マッチングサービス
「Reinforce HR」

売上高構成比



ICT

売上高構成比 **55.0%**

■ システム運用

■ システム構築

デジタルイノベーション

売上高構成比 **24.7%**

■ 人財育成コンサルティング

■ セキュリティ

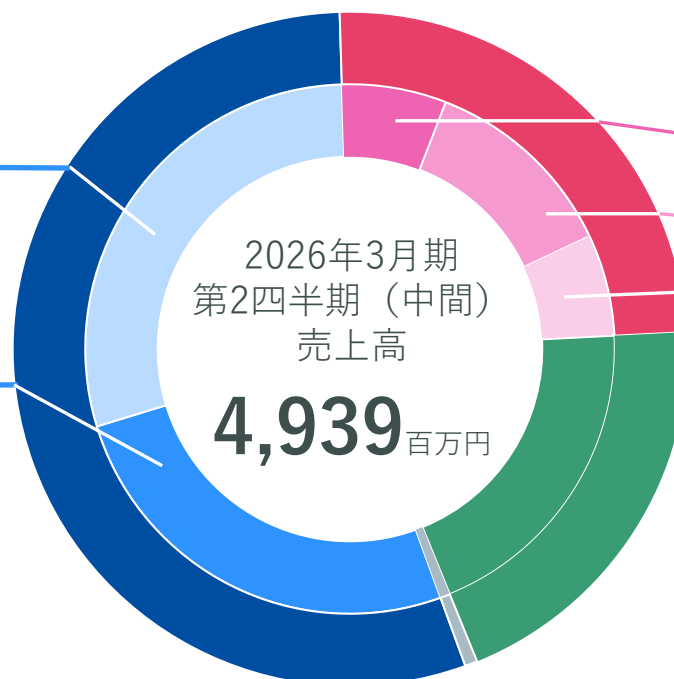
■ DX開発

ライフサイエンス

売上高構成比 **19.7%**

その他（海外）

売上高構成比 **0.6%**



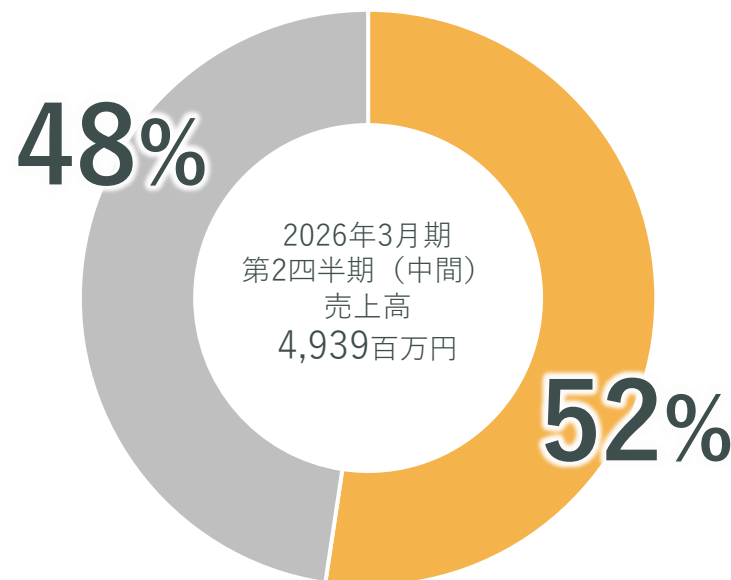
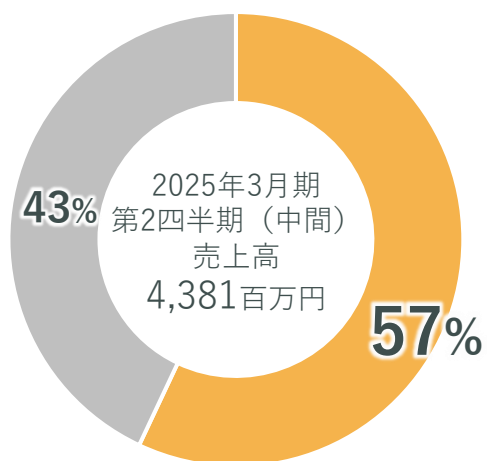
ストック型・フロー型ビジネス



システム構築の事業拡大によりフローが増加

ビジネスモデル別構成比

- ストック
- フロー





Ⅱ. 2026年3月期 第2四半期（中間） 決算実績

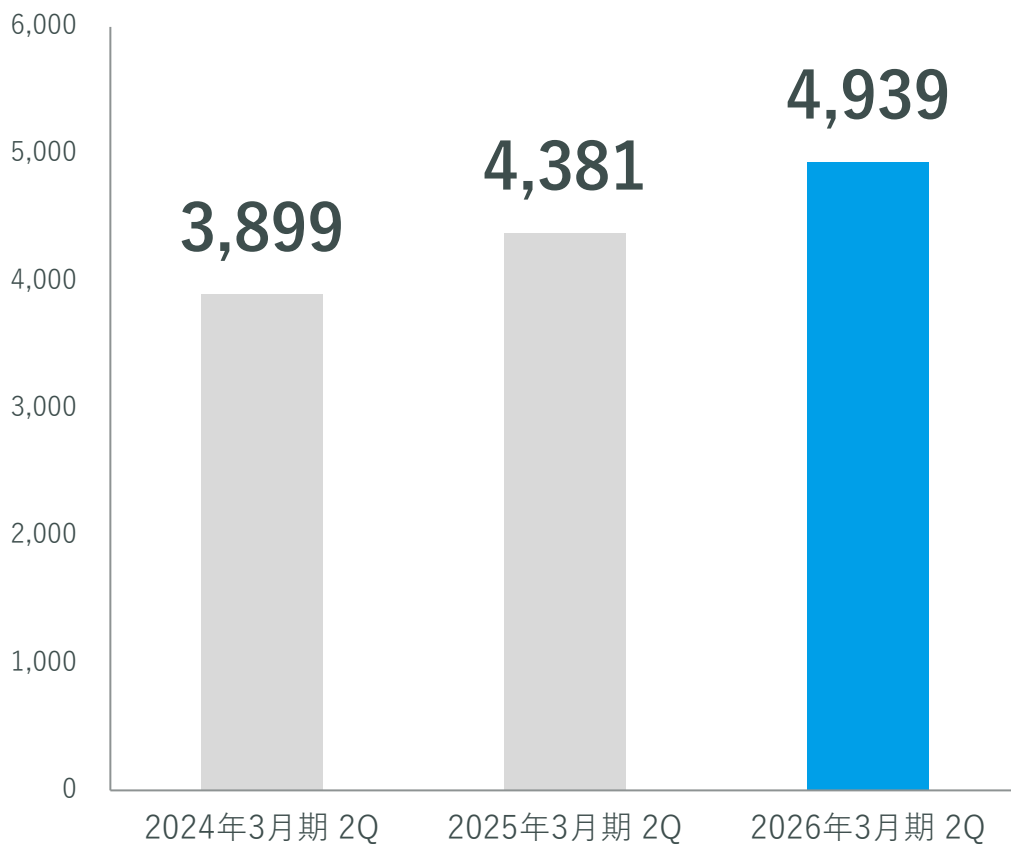


- ✓ 幅広い業種でDX関連の投資が活況
- ✓ ICTのシステム構築が牽引し、増収増益
- ✓ 一部案件の前倒し及び今後の事業環境の変化を勘案し、通期業績予想は据え置き

売上高



(百万円)



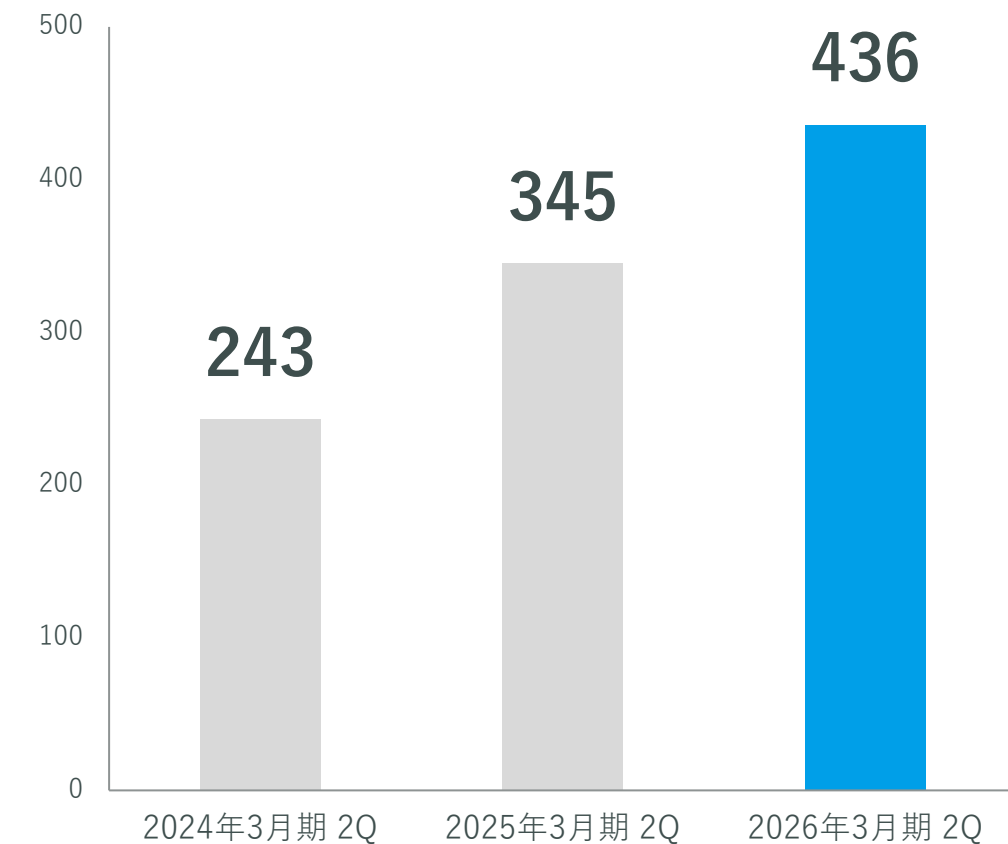
12.7%増収



営業利益



(百万円)



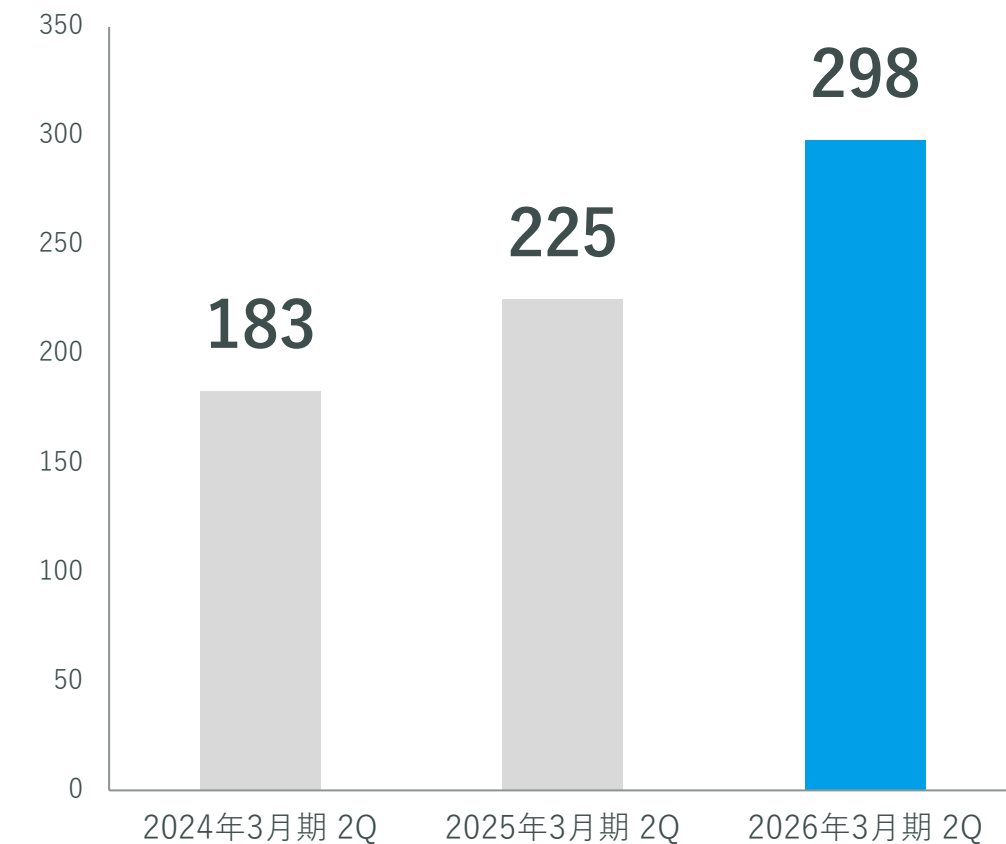
26.3%増益



中間純利益



(百万円)



32.1%増益

2026年3月期 第2四半期（中間）決算サマリー



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期				
	第2四半期 (中間)	第2四半期 (中間)			通期	
	実績	実績	業績予想	達成率 (%)	業績予想	進捗率 (%)
売上高	4,381	4,939	4,435	111.4%	9,632	51.3%
営業利益	345	436	252	173.2%	830	52.6%
経常利益	341	443	252	175.8%	830	53.4%
中間純利益	225	298	166	179.5%	600	49.7%



各事業セグメント売上高

		2025年3月期	2026年3月期			
(単位：百万円)		第2四半期 (中間)	第2四半期 (中間)		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	290	315	+8.5%	562	56.1%
	セキュリティ	467	597	+27.9%	1,000	59.8%
	DX開発	397	306	△22.8%	826	37.1%
ICT	システム構築	864	1,276	+47.6%	2,148	59.4%
	システム運用	1,489	1,444	△3.1%	3,004	48.1%
ライフサイエンス		872	970	+11.3%	2,057	47.2%
その他		0	29	-	34	86.4%
合計		4,381	4,939	+12.7%	9,632	51.3%

各事業セグメント利益

(単位：百万円)		2025年3月期	2026年3月期			
		第2四半期 (中間)	第2四半期 (中間)		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	65	87	+33.9%	110	79.4%
	セキュリティ	23	3	△85.4%	65	5.2%
	DX開発	15	△31	-	49	△63.5%
ICT	システム構築	205	282	+38.0%	655	43.2%
	システム運用	351	327	△7.0%	685	47.8%
ライフサイエンス		113	180	+58.9%	290	62.3%
その他		△8	△0.8	-	△4	20.5%
全社		△420	△413	-	△1,023	40.4%
合計		345	436	+26.3%	830	52.6%

セグメント別業績推移



デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- Web試験配信プラットフォームの利用増加

セキュリティ

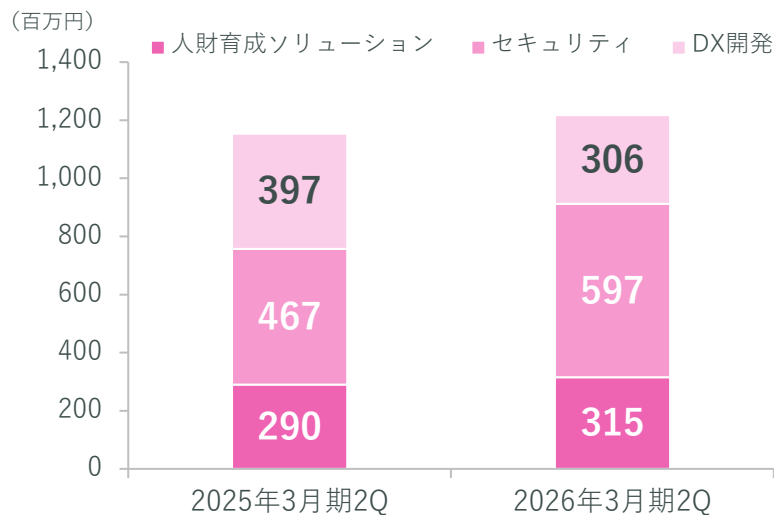
- 内部脅威対策ソリューションが好調も、体制強化によるコスト増

DX開発

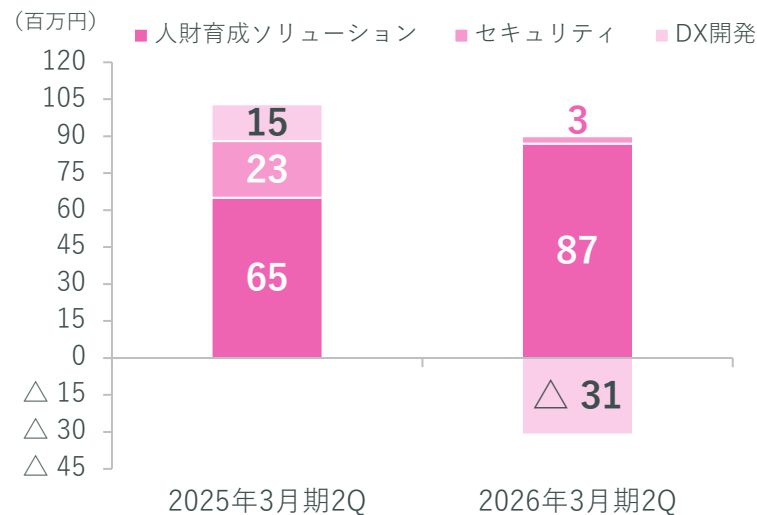
- 大型案件の一部失注と案件自体の一部後倒し

売上高

前年同期比 5.6%増収



セグメント利益



セグメント別業績推移



ICT

システム構築

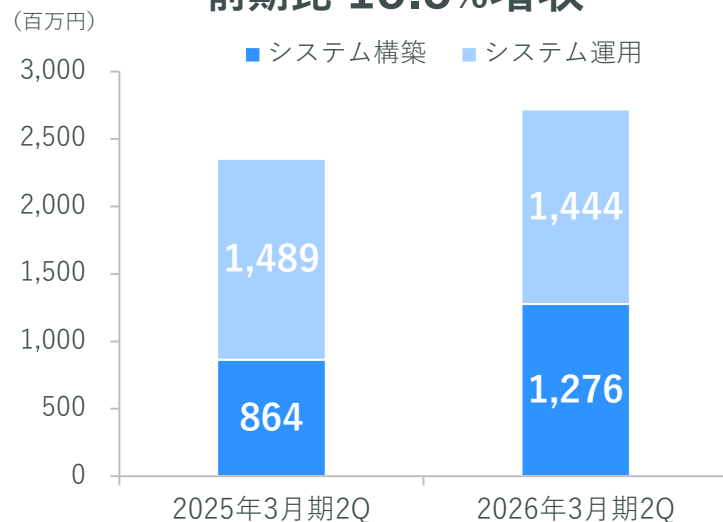
- ガバメントクラウド含むスポット案件が前倒しで受注

システム運用

- クラウド運用サービス「Kyrios（キリオス）」が好調も、従来型の常駐運用は減少

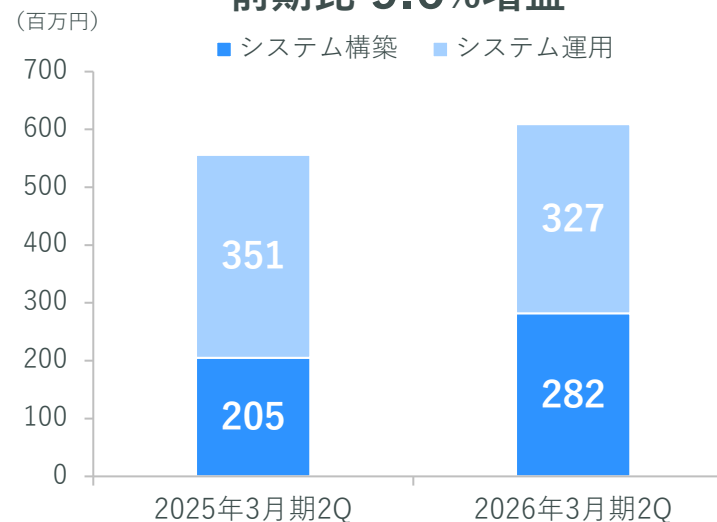
売上高

前期比 15.5%増収



セグメント利益

前期比 9.6%増益



セグメント別業績推移

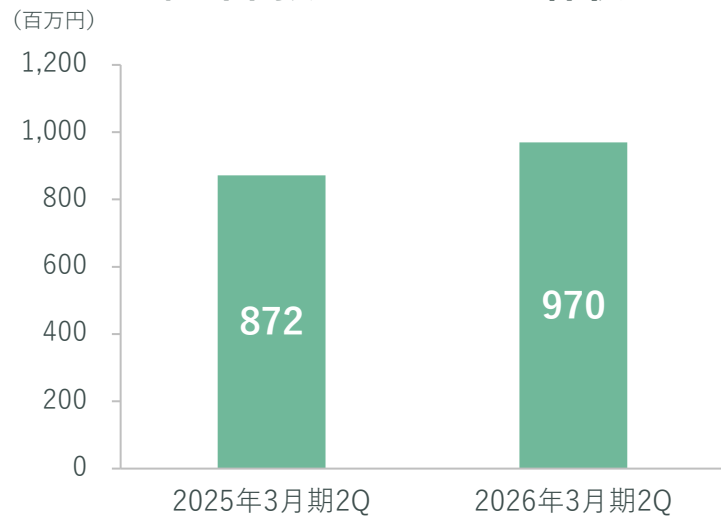


ライフサイエンス

- 保守サービスとICTサービスが伸長
- 介護DXソリューションに注力

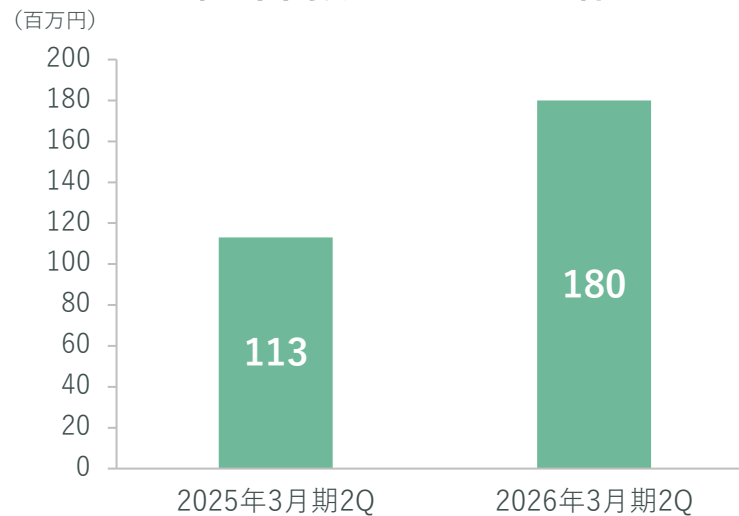
売上高

前年同期比 11.3%増収



セグメント利益

前年同期比 58.9%増益



セグメント別業績推移

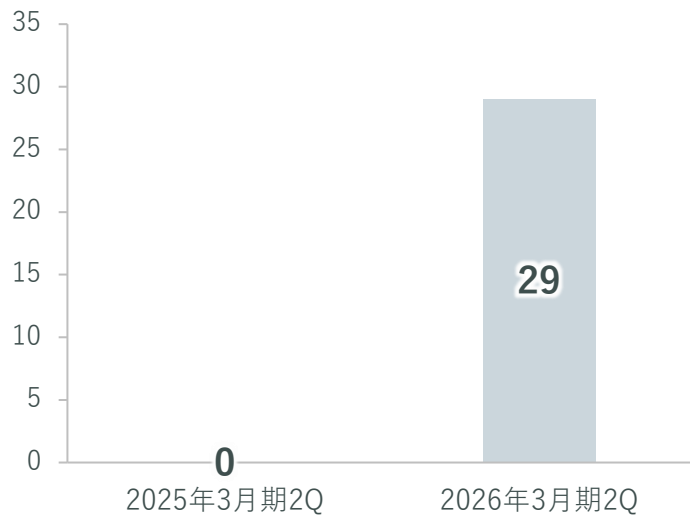


その他（海外事業）

- グローバルIT人財紹介サービス「Reinforce HR（レインフォースエイチアール）」が伸長

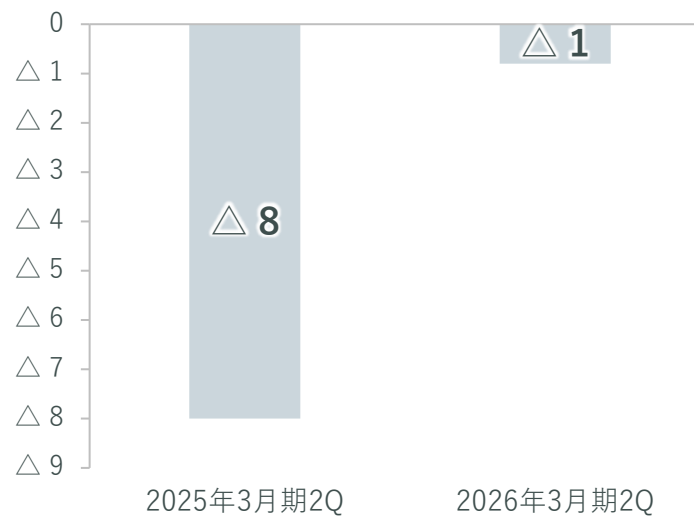
売上高

（百万円）

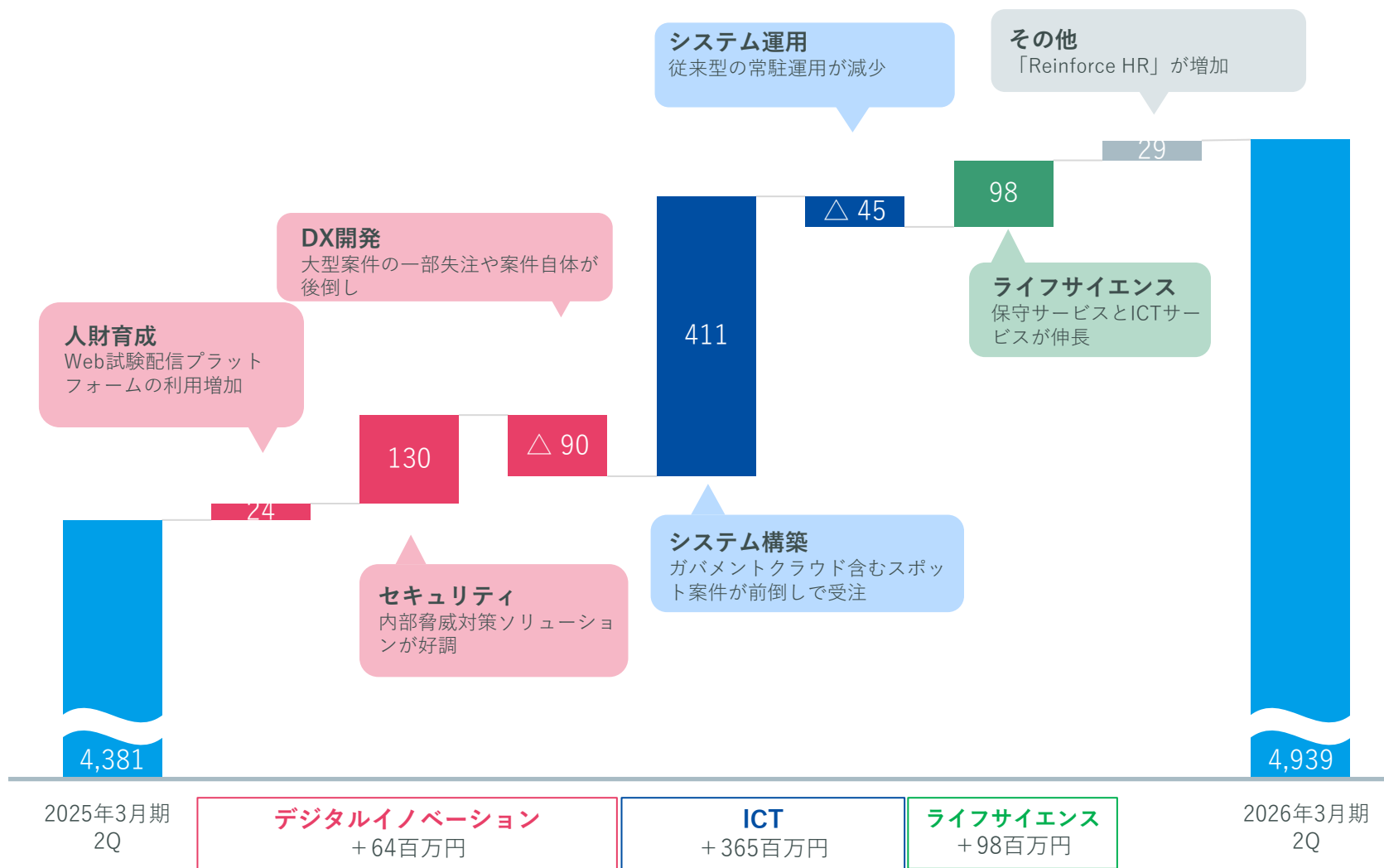


セグメント利益

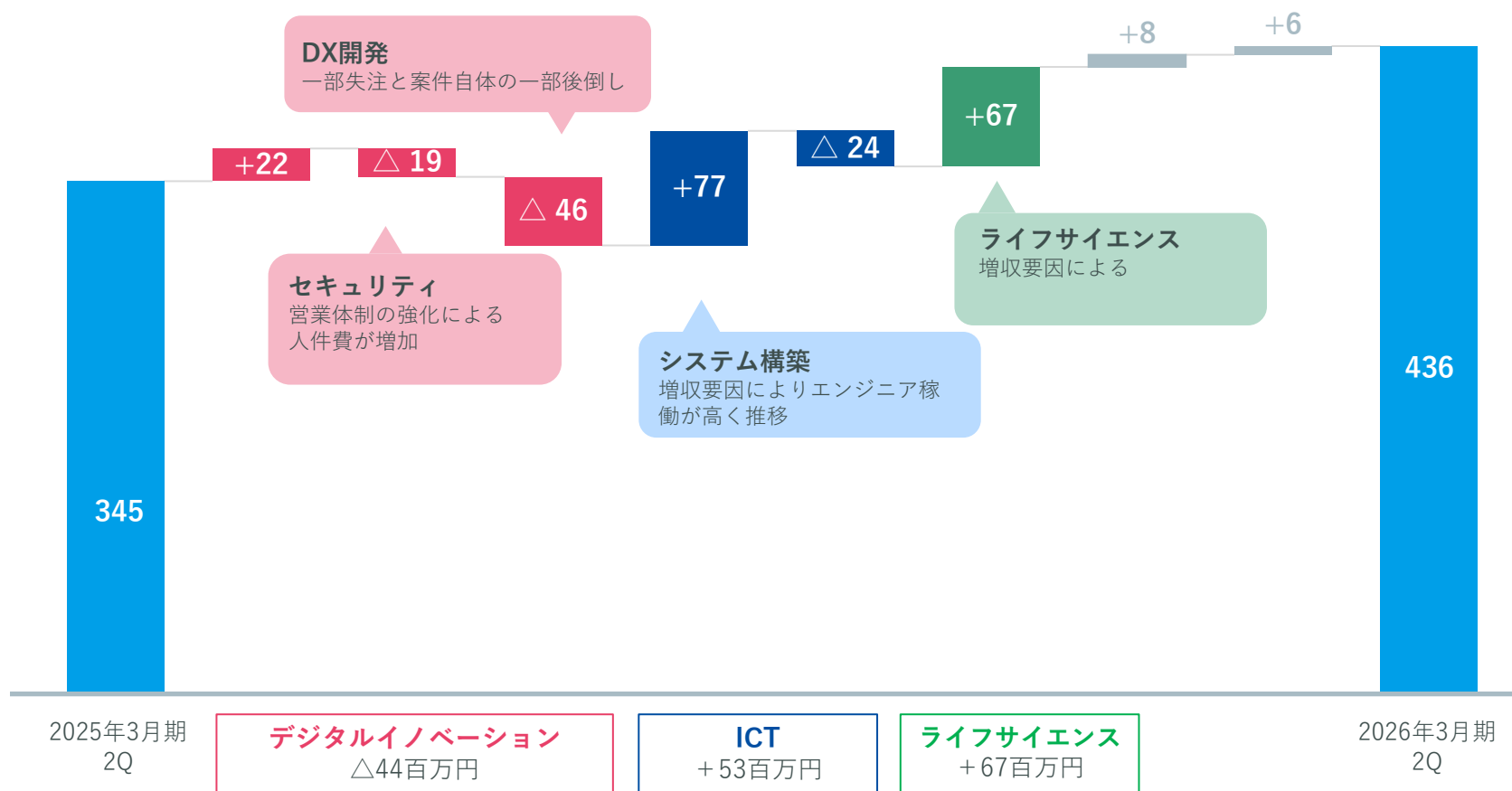
（百万円）



売上高（増減分析）



営業利益（増減分析）



財務分析（B/S）



➤ 売上増加に伴い受取手形、売掛金及び契約資産と現預金が増加

（単位：百万円）

	2025年3月期2Q（中間） 実績	2026年3月期2Q（中間） 実績	前年同期比
現金及び預金	2,955	3,234	+279
受取手形、売掛金及び契約資産	1,354	1,806	+451
その他流動資産	271	329	+57
有形固定資産	107	104	△3
無形固定資産	121	69	△51
投資その他の資産	505	542	+36
資産合計	5,358	6,126	+767
流動負債	1,247	1,529	+281
固定負債	724	775	+51
負債合計	1,972	2,305	+332
株主資本	3,386	3,821	+435
純資産合計	3,386	3,821	+435
負債・純資産合計	5,358	6,126	+767

The background of the slide features a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers. Overlaid on this image are various semi-transparent digital graphics, including line charts, bar graphs, pie charts, and a world map, suggesting a focus on technology, data, and global connectivity.

Connect to the Future

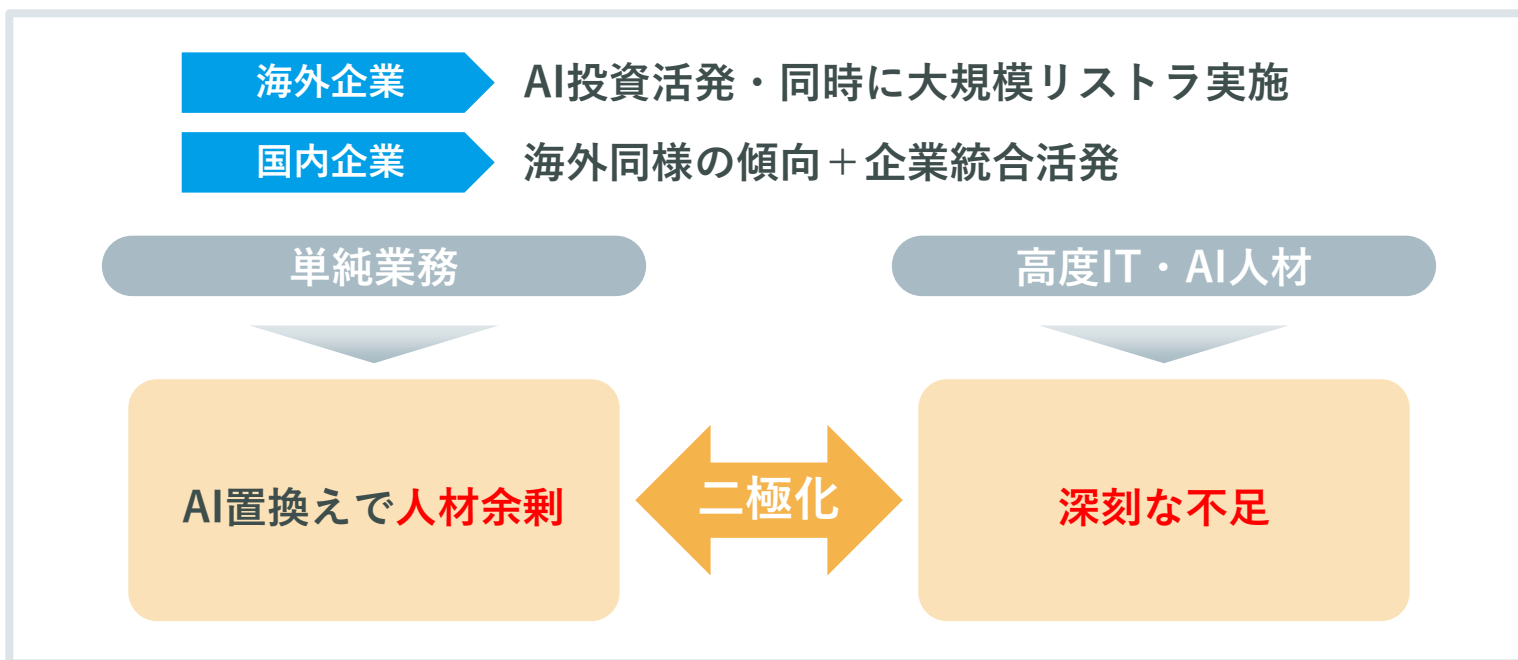
JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

雇用環境



当社採用方針

高度IT・AI人材を「ボーダレス」で積極採用

IV. 参考資料

2026年3月期 第2四半期 トピックス



「次世代校務DX支援リユース」リリース

Sler・業務システムベンダー向けに
次世代校務DX環境の構築・運用を支援

従来の校務システム

校務系・学習系などでネットワーク環境が分離され、
業務やデータが分断

- ・ 業務環境が専用端末に限定
- ・ 課題：データ活用が進まない など

次世代校務DX

- 認証認可やデータ暗号化などのセキュリティを確保
- クラウド上で各システムを統合
- データ連携を実現

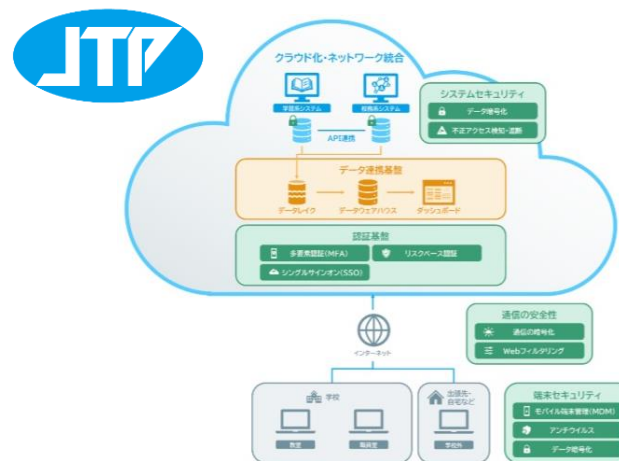
より柔軟で
効率的な
校務運営の実現
が期待

教育現場の課題解決

- ・ 「学校における働き方改革」
- ・ 「教育活動の高度化」
- ・ 「教育現場のレジリエンス確保」



次世代校務DX環境の整備に伴う、
クラウド化、ネットワーク統合・セキュリティ強化、
データ連携、環境整備後の運用支援まで
包括的なサポートを提供



対象 Slerや業務システムベンダー（ASP事業者）



クラウド移行・
モダナイズ



セキュリティ



データ連携・
可視化



ネットワーク
統合支援



運用支援・
最適化支援



2026年3月期 第2四半期 トピックス



AI 駆動開発ソリューション「daimon」提供開始

企業のAI活用による アプリケーション開発内製化を支援



当社はこれまでITシステムの開発から運用保守までトータル支援を行ってきた

⇒ ユーザー企業のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を加速させるため、内製でのアプリケーション開発を迅速かつ手軽に行えるようにすることが急務

AI駆動開発

- アプリケーション開発の様々な工程でAIを活用することで、生産性向上と新たな価値創出を実現
- ITシステムの開発・運用・内製化支援で培ったノウハウを活かし、企業のシステム内製化におけるAI駆動開発導入をサポート



AI駆動の開発支援 ソリューションで、 チーム開発を次のレベルへ

- AI支援による効率的な開発プロセスで、プロジェクトを加速
- チーム全体のAI活用スキル向上を包括的にサポート
- システム全体の最適化で、持続可能な開発環境を構築

企画
要件定義

設計
実装

テスト

保守
運用

その他

● 導入によるメリット

開発効率
40%向上

品質向上・
バグ削減

コスト削減
効果

チームスキル
向上

● 他社サービスとの違い・優位性

提案型

お客様の開発業務を
理解して
最適なAIツールを提案

AI活用の深度

表面的な自動化では
なく、開発プロセス
全体を根本的に変革

伴走支援の質

導入から運用まで、
専門チームが
一貫してサポート



2026年3月期 第2四半期 トピックス



「くるみん認定」取得

仕事と育児の両立支援し、働きやすい環境を整備

子育てサポート企業として
「くるみん認定」取得



■ 厚生労働大臣認定制度「くるみん認定」

厚生労働大臣認定資格次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業申請を行うことにより「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることが可能

JTPの子育て支援

- 次世代の社会を担う子どもの健全な育成を支援する「次世代育成支援対策推進法」の主旨に則る
- 子どもを持つ全ての社員がより主体的に育児に関わることができるよう、仕事と育児の両立支援をはじめ、社員が生き生きと働くことのできる環境整備をしていく

マイクロソフト上位パートナー資格取得

「Third AI 生成AIソリューション」を通じて
AIエージェント導入支援の提供体制を一層強化

マイクロソフト上位パートナー資格
「AI Platform on Microsoft Azure Specialization」
取得

■ AI Platform on Microsoft Azure Specialization パートナー

Microsoft Azure環境でのAIソリューションの設計・導入・運用に関して、高度な専門性・実績・ガバナンス体制が認められたパートナー企業のみが付与されるもの

JTP



- 「Third AI」を中心にMicrosoft Azureを採用
- 認定取得により高い実力が証明

業界最高水準の技術力

幅広い支援体制

- お客様のインフラストラクチャワークロードのMicrosoft Azureへの移行
- AIソリューションの構築・運用 など





Ⅲ. 2026年3月期 業績予想（再掲）

今期は”AI Agent元年”

➡➡ AIが更に業務の自動化に利活用が進む時代に！



AIエージェントが利活用される現場

≫ あらゆる業界、業務でAI利活用されるが時代へ



弊社AIの取り組み

- ✓ AIドリブン企業への変革: AIによる”爆速”生産性向上
- ✓ AI知見をサービスに展開: AI 導入・定着サービスに着手
- ✓ BPO・コンサルティング企業との提携:
第1弾:Cognizant社との提携を実施 (5/13発表)



2026年3月期 全社施策の概要

- ✓ AI、データ、セキュリティ分野の
自社ソリューションサービスのリリースを加速
- ✓ グローバル人材の採用・コンサルタントの育成強化
- ✓ マーケティング強化
- ✓ 第3次中期経営計画の策定に着手



2026年3月期 決算予想サマリー

▶▶ 前期水準を維持し、自社ソリューションサービス拡販を目指す
営業・マーケティング組織と基盤強化への投資

(単位：百万円)	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
	実績	予想	前期比（％）
売上高	9,211	9,632	104.6%
営業利益	820	830	101.2%
経常利益	828	830	100.2%
当期純利益	562	600	106.6%

各事業セグメント売上高予想

(単位：百万円)		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	予想	前期比（額）
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	573	562	△11
	セキュリティ	977	1,000	+22
	DX開発	686	826	+139
ICT	システム構築	2,059	2,148	+88
	システム運用	2,957	3,004	+46
ライフサイエンス		1,922	2,057	+135
その他		33	34	±0
合計		9,211	9,632	+421

各事業セグメント利益予想

(単位：百万円)		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	予想	前期比（額）
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	147	110	△37
	セキュリティ	43	65	+ 22
	DX開発	△10	49	+ 59
ICT	システム構築	528	655	+ 127
	システム運用	705	685	△20
ライフサイエンス		279	290	+11
その他		△4	△4	± 0
全社		△869	△1,023	△153
合計		820	830	+ 10



セグメント別業績推移予想

デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- Learning Boosterの販売強化

セキュリティ

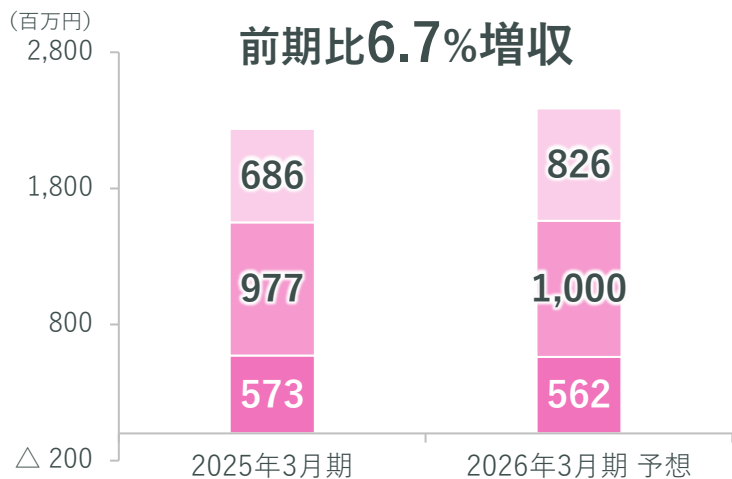
- 内部脅威対策ソリューション拡大

DX開発

- 生成AI関連の新規拡大と既存顧客の深耕

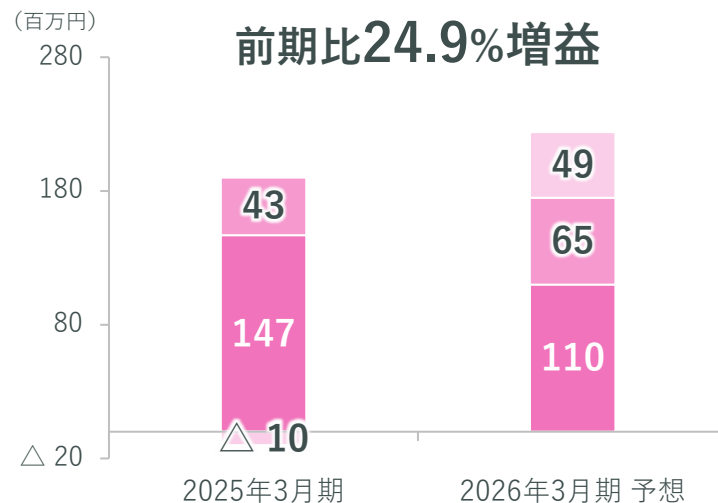
売上高

■ 人財育成ソリューション ■ セキュリティ ■ DX開発



セグメント利益

■ 人財育成ソリューション ■ セキュリティ ■ DX開発





セグメント別業績推移予想

ICT

システム構築

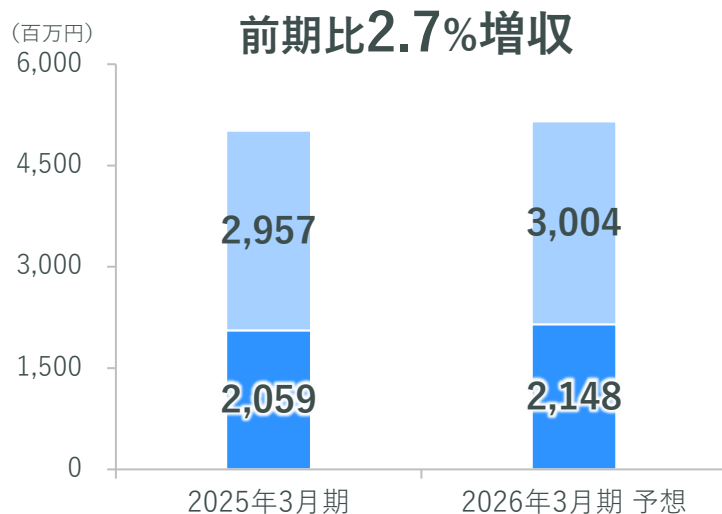
- ガバメントクラウド拡大

システム運用

- クラウド運用サービスKyrios（キリオス）拡大

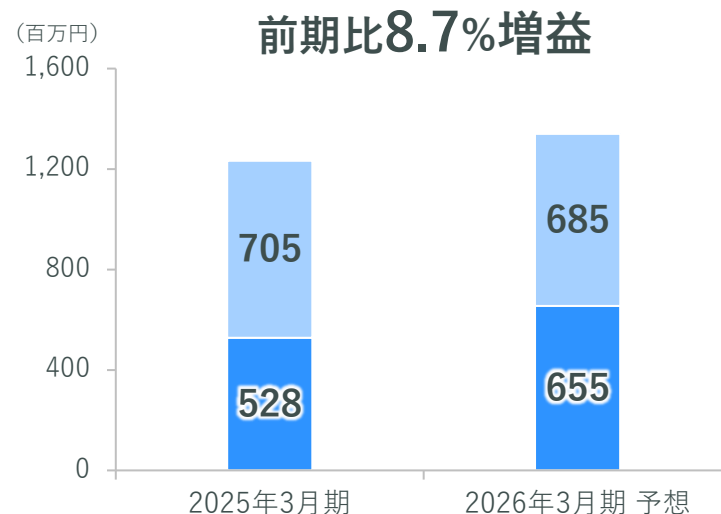
売上高

■ システム構築 ■ システム運用



セグメント利益

■ システム構築 ■ システム運用





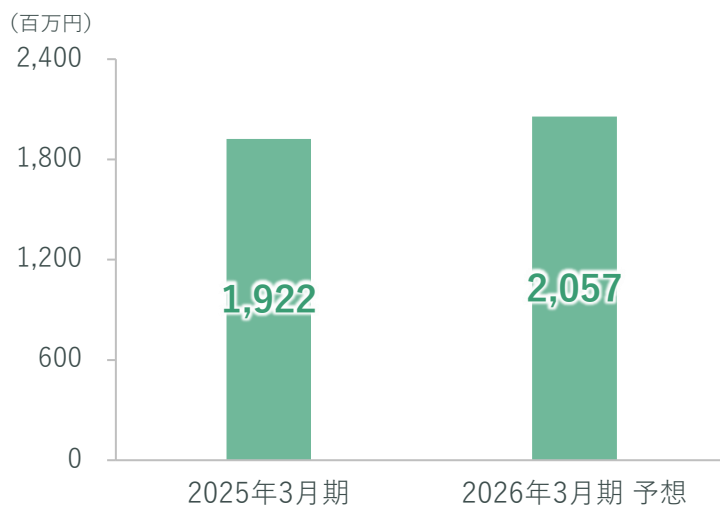
セグメント別業績推移予想

ライフサイエンス

- 病院・製薬企業向けのICTサービスの拡大
- 自社ソリューションサービス開発注力

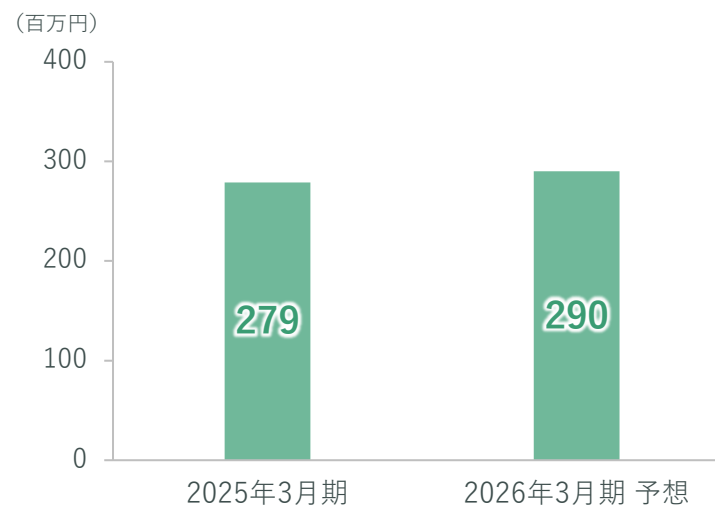
売上高

前期比7.0%増収



セグメント利益

前期比3.9%増益





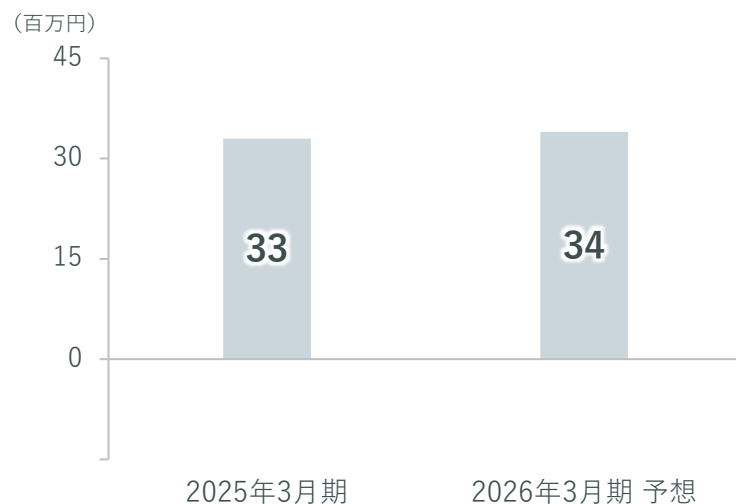
セグメント別業績推移予想

その他（海外事業）

- Reinforce HRの販売は継続
- インド支店のコストも前年並みを想定

売上高

前年同期並み



セグメント利益

前年同期並み



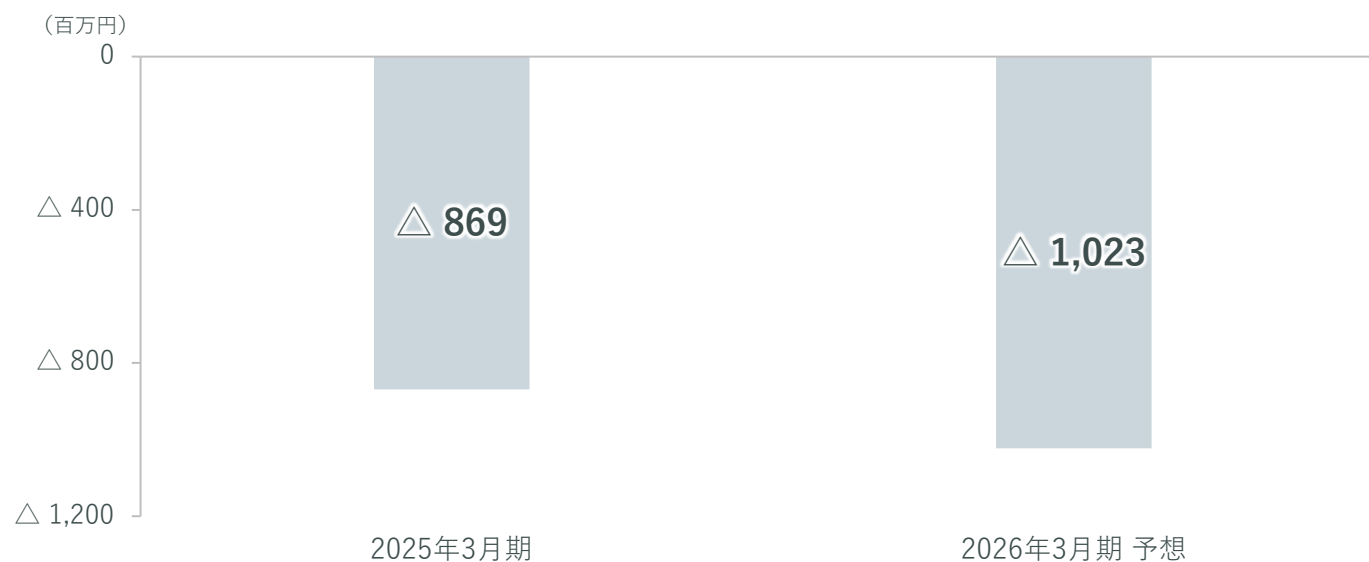


セグメント別業績推移予想

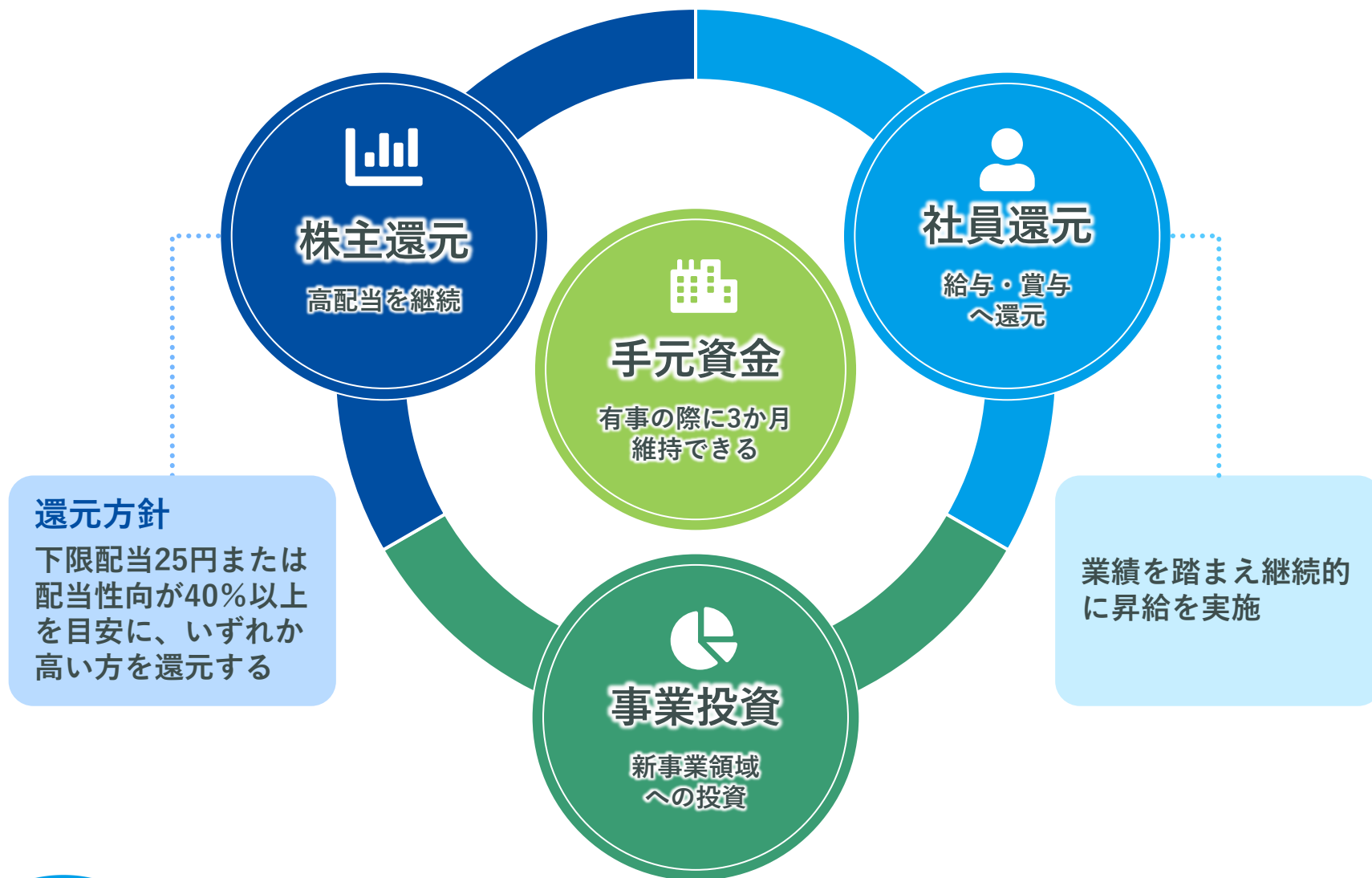
全社

- 営業組織の強化
- 社員給与の更なる昇給を実施
- マーケティング強化

販管費が増加



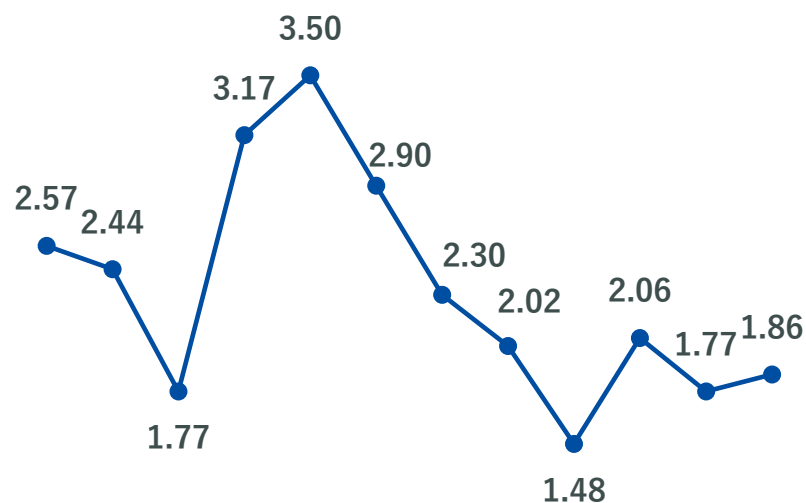
財務戦略（再掲）



企業価値向上にむけて（現状分析）

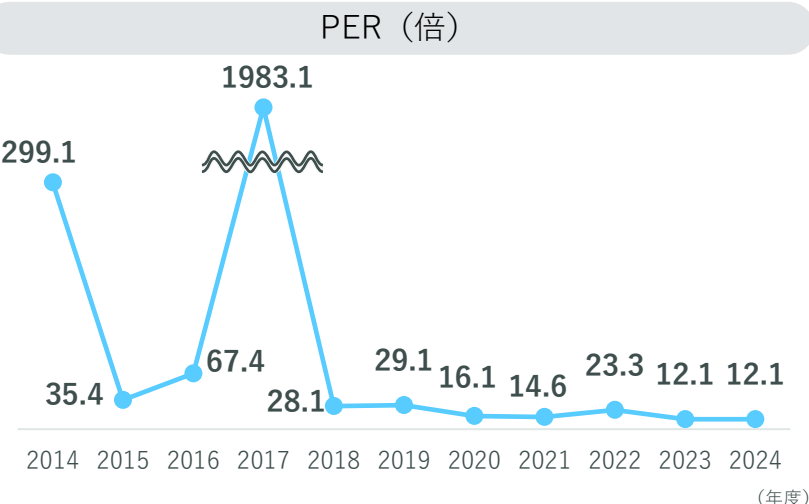
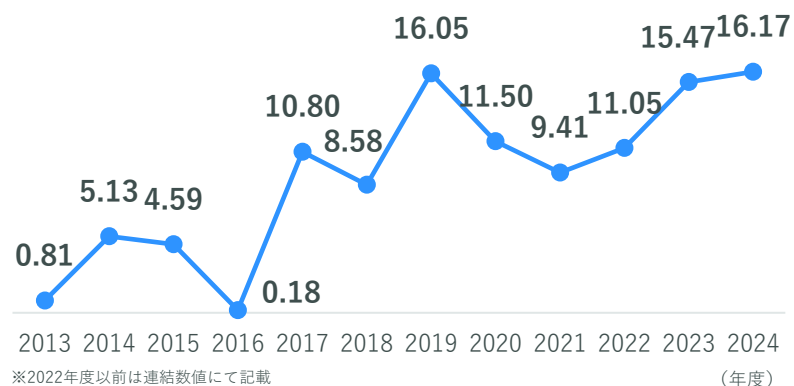


PBR（倍）



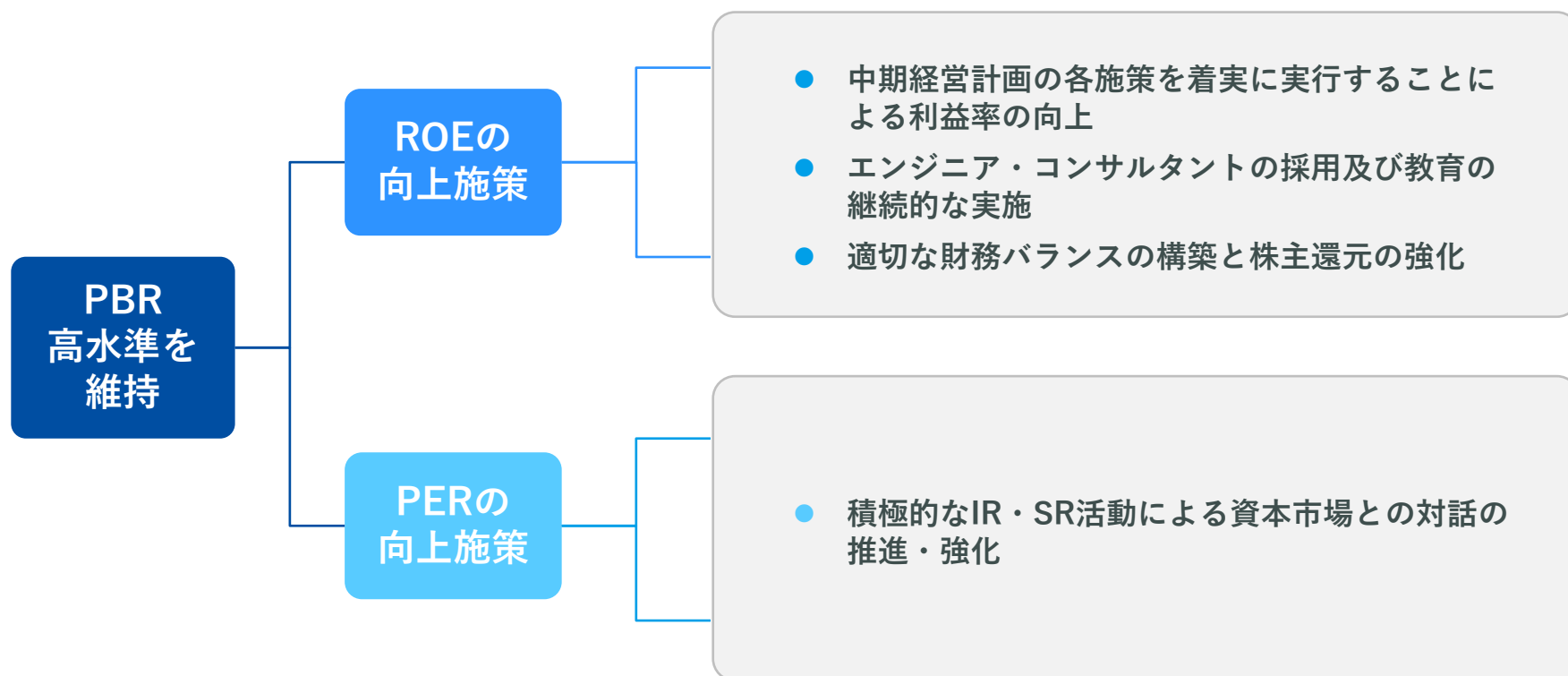
2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024
(年度)

ROE※（％）



2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024
(年度)

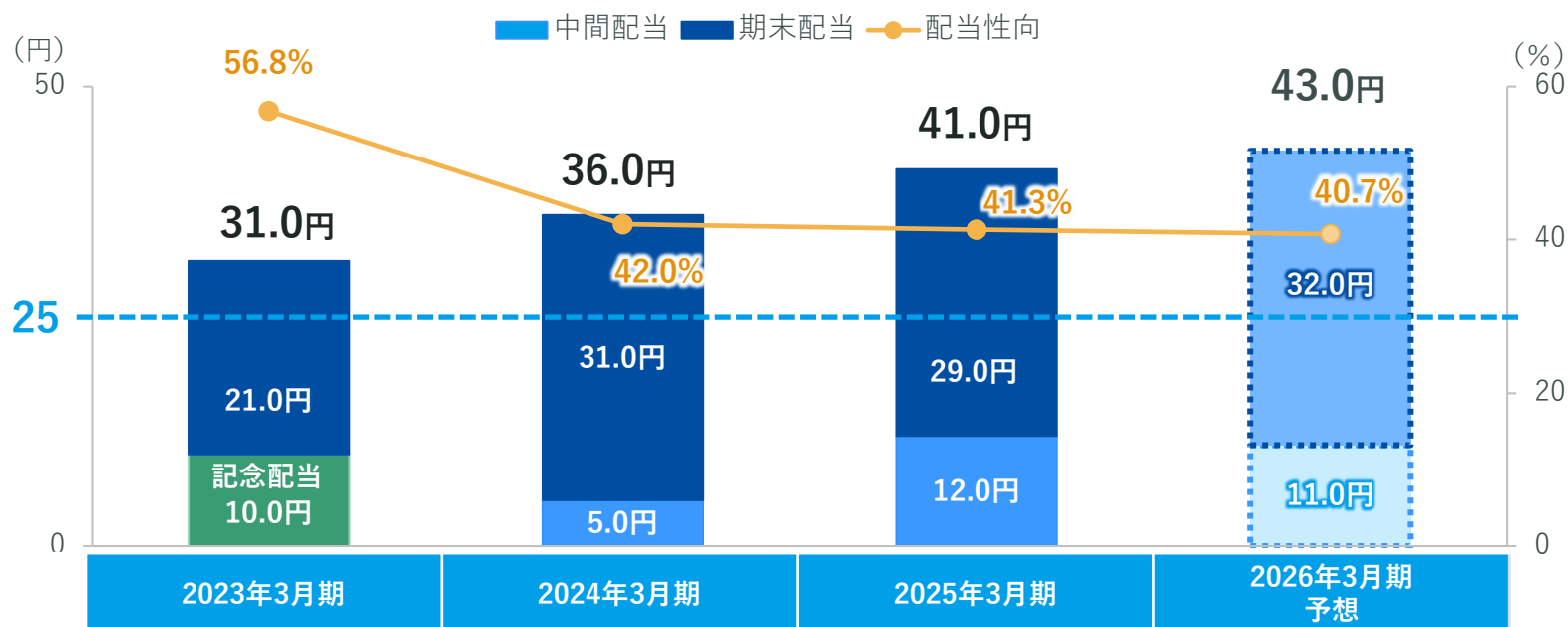
PBR1.0倍超の水準を維持



株主還元



≫ 高水準の配当を維持し、3期連続増配を実施



	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 予想
配当金(年間)	31.0円	36.0円	41.0円	43.0円
(期末配当)	21.0円	31.0円	29.0円	32.0円
(中間配当)	10.0円 (記念配当)	5.0円	12.0円	11.0円
配当性向	56.8%	42.0%	41.3%	40.7%

ストック型・フロー型ビジネス



セグメント別ビジネスモデルの売上状況

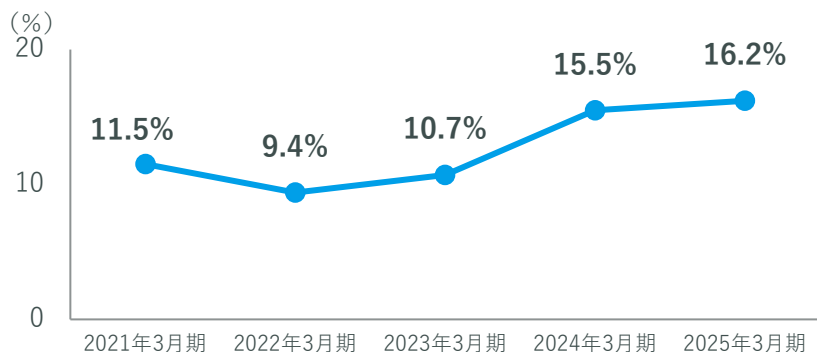
		2026年3月期2Q（中間期）		ストックビジネスの定義
(単位：%)		売上構成比		
事業セグメント	サブセグメント	ストック	フロー	
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	64%	36%	自社サービス（GAIT/Learning Booster）と一部アウトソーシング契約
	セキュリティ	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	80%	20%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	0%	100%	一部期間固定契約
	システム運用	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サービス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		5%	95%	医療ICTの一部直接契約
その他		52%	48%	—

過去5期指標推移



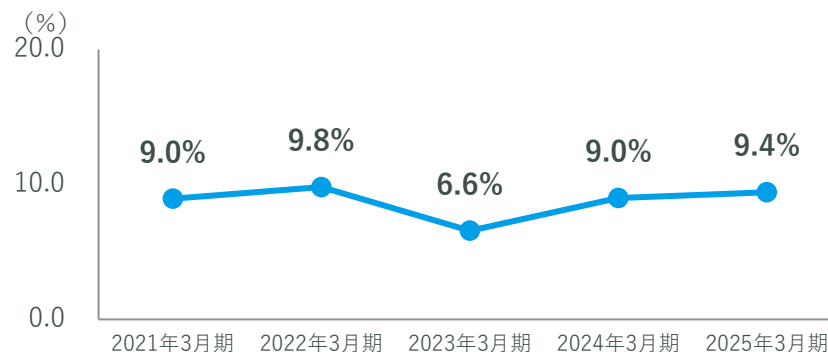
直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。
今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



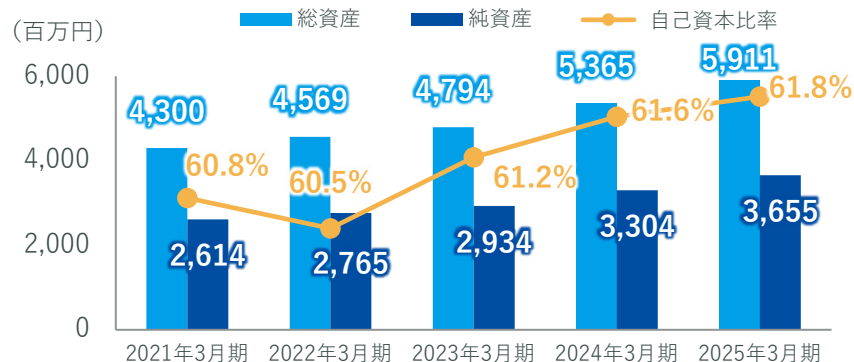
※出所：NIR提供データを弊社にて加工

ROA（総資産利益率）

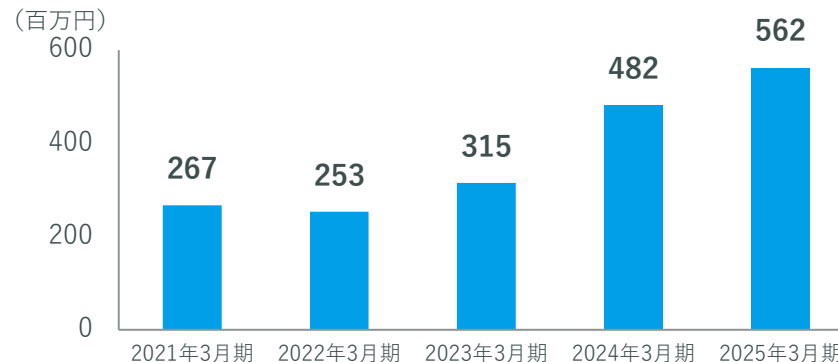


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



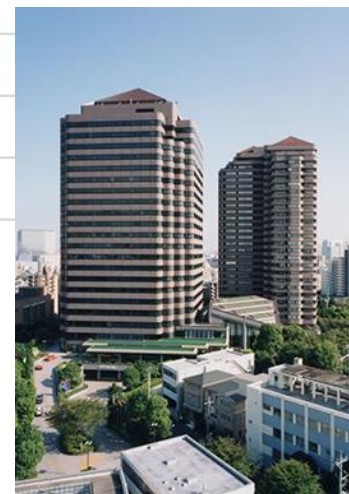
※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、福岡
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	462名(2025年3月31日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革



1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンタを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンタを設置（現：東京テクニカルラボセンタ）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンタを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンタを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



財務データ推移



(単位：百万円)

	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381	8,119	9,211
売上原価・ 営業原価	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046	6,584	7,342
売上総利益	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335	1,534	1,868
販売費及び 一般管理費	582	587	707	749	824	775	761	785	870	903	1,048
営業利益	177	237	195	251	238	470	351	435	464	631	820
経常利益	191	234	136	258	247	483	382	470	476	665	828
当期純利益	90	81	3	184	154	309	267	253	315	482	562

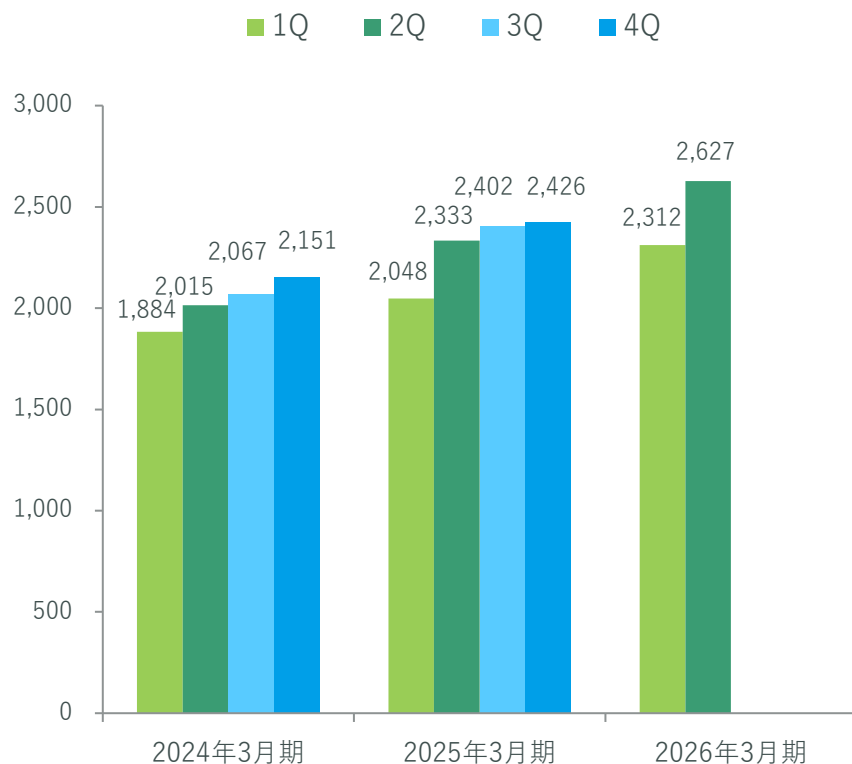
※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



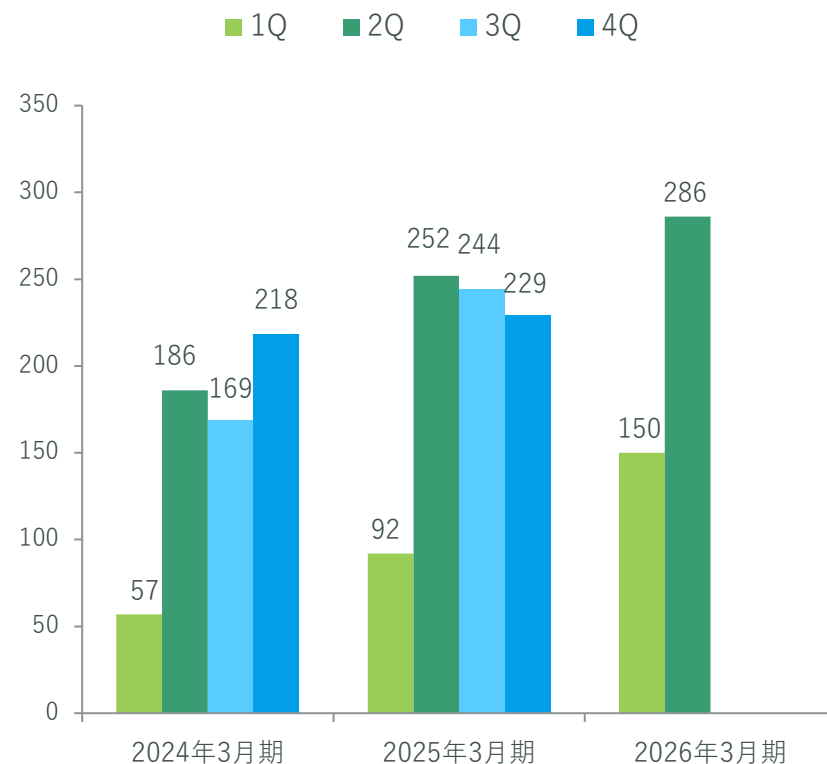
四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益



The background of the slide features a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers. Overlaid on this are various semi-transparent digital graphics, including line charts, bar graphs, pie charts, and a world map, suggesting a focus on global business and technology.

Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.